

平成 25 年度第 2 回さぬき市歴史民俗資料館協議会 会議要旨 (要約)

- 1 日 時 平成 26 年 2 月 10 日 (月) 10:00 ~ 11:30
- 2 場 所 伝習館 2 階・会議室
- 3 出席者 [委 員] 熊田正美 渡邊寛 藤井邦子 廣瀬強 三木清市
[事務局] 安藤教育長 中野生涯学習課長 山本副主幹 池田主査 松本主事
[傍 聴] 0 名
- 4 議 題 1. 平成 25 年度事業報告について
2. 平成 26 年度事業計画について
3. その他
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	只今から平成 25 年度第 2 回さぬき市歴史民俗資料館協議会を開会します。
(会長)	(会長あいさつ)
(教育長)	(教育長あいさつ)
(事務局)	それでは、まず資料館視察に移ります。
(出席者)	(資料館視察)
(事務局)	本日の会議の出席状況は委員 5 名、事務局 5 名、計 10 名です。本日の会議は、公開とさせていただきます。なお、本日の傍聴人はありません。 それでは、これより議事に移ります。
(議 長)	議題 1 について、事務局より説明をお願いします。
(事務局)	(事務局説明)
(事務局)	資料館が所蔵する古文書・古記録類の資料整備に関しては、今いらっしゃる一部の委員の方々に引き続いてご協力をいただいております。
(委 員)	事務局の説明の中に出た古文書・古記録類の整理作業について補足したいと思います。現在、変色防止を兼ねて封筒に入れており、主要なデータを記入したカードを張り付け、エクセルシートに纏めるという形で進めています。このような整理作業は、貴重な資料をご寄贈頂いた寄贈者との関係の上でも重要なことだと考えます。
(議 長)	巻尺等を一緒に写して、一目で大きさが分かるようにしたら良いのではないのでしょうか。

(委 員)	その方法も考えたのですが、それでは一枚を撮るのに手間がかかりすぎるということが分かりました。今後もより効率の良い資料のまとめ方を考えていきたいと思います。
(事務局)	事務局としても資料の整理の仕方を共に検討していきます。
(委 員)	市内小中学校の利用を増やすために、展示の整理を行い資料館を使いやすくすることは重要です。その一方で、資料館が直接小中学校を訪問して説明を行う出前講座も利用頻度を上げるために有効でしょう。特に行き返りのロス時間が無くなるのが、メリットとして大きいです。
(事務局)	来年度は出前講座の回数を増やすことも考慮に入れて、各小中学校と調整をしていきたいと思います。
(議 長)	議題2について、事務局より説明をお願いします。
(事務局)	(事務局説明)
(委 員)	今の資料館の説明板は漢字中心で表記されており、小中学生が来ても理解できずに帰ってしまっています。振り仮名を振るなど説明板を一部作り直すか、それが難しければ子供用のワークシート等、子供の勉強につながるものを作ってもらえれば、ありがたいです。
(事務局)	ワークシート等を説明板の横に置いておくなど、具体的な案を考えていきたいと思います。
(議 長)	議題3について、何かありませんか。
(委 員)	骨董屋のような雑然とした印象を与えないように、時代の流れに沿った展示を心掛け、展示品の峻別を進めていくことが重要であると思います。
(事務局)	①これからの展示のビジョンと、②展示替えをしてどうなるのかという、2点に留意しながら、どこに予算を使っていくかを検討していきます。
(議 長)	次回協議会は、今年の7月頃行う予定です。本日はご苦労様でした。